

方法ハ操作ノ簡單ヨシ注入液比較的多量、完全ニ吸收サル  
 點ニ於テ他ノ法ニ勝ルモノニシテ、殊ニ重症ナル小兒ニ  
 ノミ使用セルガ、其效果卓越ナリキ。

結論。一、食鹽水及其他ノ藥液注入ハ、重症期ヲ通ジ  
 テ行フ時ハ屢々著功ヲ呈ス。特ニ體液ヲ著シク消失スル  
 下利ノ際ニ於テ然リ。

二、飲用及灌腸不能ナル時ハ、靜脈内注射ヲ行フ。若  
 シ淺在性靜脈ノ穿刺困難ナル場合ハ、上矢狀竇又ハ股靜  
 脈ヲ選ブベシ。(西川勳 譯)

雜報

●敘任及辭令

依願豫備役被仰付

陸軍二等軍醫 橋本政一

四級俸下賜

防疫官 高畑運太

(四月二十六日)

海軍軍醫少佐 江木健三

海軍軍醫學校選科學生被免

海軍軍醫少佐 江木健三

(五月一日)

待命被仰付

醫學博士 秦佐八郎

臨時脚氣病調査會委員被免

(五月四日)

敘正六位

從六位 森滋太郎

敘正七位

從七位 鈴木昌平

(五月十日)

●卒業證書授與式 去月より施行中なりし岡山醫學專門學校卒業試験は本月八日結了せしを以て本月十五日午前十時より同校に於て卒業證書授與式を舉行せり其順序は先づ筒井校長より左記卒業生に卒業證書を授與し次に式辭を朗讀し次に文部大臣(代讀)、中山岡山市長、在校生總代中野滿隆君の祝辭朗讀あり卒業生總代怡土良三君の答辭ありて式を終り別室に於て茶菓の饗應ありて一同退散したるは午前十一時半頃なりし

卒業生氏名

- 林 香苗 徳島
- 怡土 良三 福岡
- 唐澤 利千雄 長野
- 大城 眞郷 福岡
- 小田 義彦 廣島
- 松谷 辰造 東京
- 三宅 正一 岡山
- 小川 正三 鳥取
- 門脇 善次 山口
- 橋本 孝之助 廣島
- 藤政 清石 山口
- 佐藤 政夫 岡山
- 田内 尙民 高知
- 一宮 一徳 大分
- 小松原 一郎 島根
- 吉川 朋來 岡山
- 丹原 曉夫 岡山
- 越智 雅二郎 愛媛
- 原 勝巳 備前
- 御前 慶造 和歌山

- 渡邊 恒藏 鳥取
- 土井 眞一 岡山
- 北林 稔和 歌山
- 城 義彰 山口
- 堀 勘市 山口
- 佐藤 一衛 岡山
- 山尾 圓一 廣島
- 井上 易憲 鳥取
- 山田 一三郎 大阪
- 雲 英元 雄愛知
- 村田 帶雲 山口
- 石尾 健次郎 岡山
- 山田 甫一 靜岡
- 森 定 惠岡山
- 安江 綱定 鳥取
- 森 木光 鷹高知
- 中井 義重 三重
- 小野 獻吉 岡山
- 樋上 士六 廣島
- 正田 政人 廣島
- 宗野 正兵 庫
- 前田 與三郎 愛媛
- 野津 芳孝 島根
- 弓削 鐵夫 宮崎
- 戸田 勇一 廣島
- 逸見 銀三郎 埼玉
- 松本 藤繁 愛媛
- 藤原 寛治 兵庫
- 高井 春生 山口
- 大林 新 廣島
- 米澤 隆之 兵庫
- 毛利 明弘 岡山
- 力丸 匡兵 庫
- 佐藤 忠躬 大分
- 赤堀 茂樹 岡山
- 西 海一 山口
- 藤田 富枝 愛媛
- 河田 豐章 岡山

三木克彦 廣島	有吉邦男 福岡	木元六郎 山口	湯淺忠雄 德島	久留島通政 廣島	下山丈夫 岡山	田和輔 廣島	新免精岡 山	辻哲二 愛媛	山本豐之進 兵庫	島中敏郎 岡山	宮本巖山 口	喜多島健鷹 岡山	島山拓一 廣島	大田澄山 口	佐野有俊 愛媛	小堀文哉 岡山	藤田朝治 兵庫	足高萬太郎 奈良
林成道 山口	松岡意敬 岡山	武田光治 岡山	玉川忠太 兵庫	内藤默仙 山口	花室憲章 熊本	佐藤鳴海 大分	安武輝一 大阪	大原孝度 廣島	小野哲二 岡山	富岡諒一 岡山	重本立郎 山口	田中政次 山口	北村四郎 三重	小田薰 愛媛	沖隆 廣島	辻岡新作 山口	藤波三元夫 東京	正田明貫 岡山

秋本運 旭岡山	近藤寅夫 德島	朝隈末次 鹿兒島	池田正夫 岡山	金子茂廣 山口	樋口敏雄 滋賀	新藤輝雄 山口	植苗福次郎 京都	小川岩雄 廣島	有馬實 廣島	石原順福 岡	藤田正夫 愛媛	半田稔 兵庫	山田謙吉 岡山	和佐景山 口	桂義一 兵庫	吳泉 臺灣	林育伯 臺灣	楊丙炎 臺灣	金焯 達朝鮮	陳賀 虞支那	賀孝銘 支那
------------	------------	-------------	------------	------------	------------	------------	-------------	------------	-----------	-----------	------------	-----------	------------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

因に記す○印は優等生にして賞品銀側時計一箇を授與せられし者なり

### ● 人事彙報

○志摩次郎君 岡山醫學專門學校教授兼岡山縣病院小兒科醫長たりし同君は今回滿鐵撫順炭坑醫院小兒科醫長に

轉任せられ本月十一日當地を出發せられたり

○浮田友樹君 は今般岡山醫學專門學校小兒科講師を囑託せられ同時に岡山縣病院小兒科醫長をも囑託せられたり

○藏田利作君 豫て米領フイリッピンに滞在中の同君はマライ半島に渡航し本年二月より左記の大正「ゴム」園に勤務せられたり

Taisho Rubber Estate.

Rengam, Johore.

○村山富次君 豫て東京杏雲堂病院に勤務中の同君は今般約三箇年の豫定にて歐米に留學せらるゝこととなり本月十八日横濱解纜の諏訪丸にて米國に向て出發せられたり

○北川正一君 は豫て静岡市勝又小兒科醫院に勤務し居られしか今回姫路赤十字社支部病院に轉勤せられたり

○玉置順治君 昨年岡山醫學專門學校卒業以來同校細菌學教室に勤務中の同君は今般東京市麴町區富士見町朝倉病院に轉勤せられたり

○篠原一幸君 昨年岡山醫學專門學校卒業以來岡山縣病院外科に勤務し居られしが今回秋田縣鹿角郡尾去澤鑛山病院に轉勤せられたり

○小林壽郎君 豫て岡山縣病院外科に勤務中の同君は先般同院を辭し研學の爲め上京せられたり

○三好悦一君 は豫て廣島市吉永内科病院に勤務し居られしが今回廣島縣豊田郡吉名村に於て開業せられたり

○櫻井郷三君 先般海軍を辭せられたる同君は今回山口縣厚狹郡小野田町に於て開業せられたり

○中村林樹君 は豫て當市野田屋町菅病院に於て治療に従事し居られしが今回郷里和歌山縣東牟婁郡下里村に於て開業せられたり

黒田堅二君逝く 君は昨年岡山醫學專門學校を卒業し姫路赤十字社支部病院に勤務中本年一月下旬より流行性感冒に犯され療養中なりしが其效なく去月二十七日遂に遠逝せられたりと洵に哀悼の情に堪へざるなり

◎山口通信 五月二十三日厚狹郡宇部村に於て山口縣醫學會開催其節同窓會相催し候會場及時間の都合上茶話會たりしは甚だ遺憾に存候へ共斯く多數の出席者ありしは近來稀有の事にて慶賀の至りに候

當日出席者左に記載致置候

杉 右一	前田大吾	福井勇太
井上靜丸	河内山政一	西村一太郎
恩地興策	岡村儀人	末野包植
岡村善三郎	柳 義雄	三輪俊弼
吉武権一	櫻井廉一	櫻井郷三
名和田豊作	三好正一	三吉基雄
財満平也	彌政竹雄	有馬雅輔
新見治人	山部 斌	武波晋一

## 岡山醫學會彙報

### 岡山醫學會通常會

同會は本月二十日午後三時より岡山醫學專門學校に於て開會せり筒井會長開會を報じ直ちに左の演說に移る

第一席 「アルカリ」劑及酸類ノ胃液分泌ニ

及ボス影響

小林孫兵衛君

「アルカリ」劑の分泌抑制作用は中樞的作用によるや或は末梢的作用によるやにつきて實驗報告をなし又分泌抑制持續時間につきて述べたり。

酸類殊に稀塩酸「アチドール」は初め分泌を抑制し後ち亢奮せしむと結論せり。(自抄)

第二席 「レントゲン」ニ關スル二—三ノ「デモン

ストラチオン」

村松篤治君

(一) Parallax Localizer (Edwands. Blaine. M. D.)  
此の器は一九一八年六月米國「レントゲン」雜誌に於て